

2008年

9

月号

# 組合会報

〈発行所〉

埼玉県鍍金工業組合

〒331-0811

さいたま市北区吉野町 2-222-7

TEL 048 (666) 2184

FAX 048 (652) 7631

〈発行人・理事長〉

〈編集人・総務委員長〉

島田 幸昌

## —今月号の主な内容—

『組合員数減少に思うこと』副理事長 野口 武……………2

第43回通常総会開催 ……………3

全国鍍金工業組合連合会平成20年度通常総会開催  
……………4

平成20年度 埼玉鍍金会会長就任挨拶……………5

支部だより(第2支部)……………6

裁判員制度が始まります……………7



132号

# 組合員数減少に思うこと

埼玉県鍍金工業組合 副理事長 野口 武



Uの化学物質規制R O H S等々、これら規制を守ると捉えるべきか逆にクリアするこ  
とによる経営戦略と、より積  
極的に考える、すなわちC S  
R（企業の社会的責任）とし  
て環境と経営を一体として考  
えていくことがこれからの事  
業ではないだろうか。そして  
これら規制を個々の企業と  
して捉えながら我々組合組  
織が一丸となって環境保全  
を順守していくことにより  
業界全体のレベルアップに  
つなげていきたいものです。  
そんな中、全国規模で組合  
員数の減少傾向が続いてお  
り、埼玉組合においても例外  
では無く平成12年～16年の  
5年間だけで117社↓100社（主  
に廃業による17社減少）とな  
り、このまま減少を傍観して  
いては組合運営が危なくなる  
のではと危惧し平成16年に  
県の支援の下、埼玉県全体で  
アウトサイダーが何社ある  
のかを調べることから始ま  
り、各市町ごとに地区割をし  
て調査したところ産業分類の  
2864、2869を合せて82  
社あることが判明し、その中  
の中小企業対象外を除いて加  
入案内を作成し平成17年から  
資料を送付、その後組合員支  
援の下、調査訪問を行い組合  
加入によるメリットを充分説  
明し、今日まで来ていますが  
この間5社新規に加入してい  
ただくことが出来ました。尚、  
現在も数社折衝中ですので加  
入されると期待しているこ  
ろです。新規加入された企業  
は総じて積極的に組合事業に  
参画し組合活性化に貢献して  
いる傾向が見られます。

ここ数年で矢継ぎ早々に、  
我々業界を取り巻く環境関  
係法律が施行され、それら規  
制を順守しながらの会社経営  
をしている業種は稀なように  
思います。大きくは、地球温  
暖化防止（低炭素社会）によ  
る様々な改善、そして直接関  
係の深い「P R T R制度・土  
壌汚染対策法・ほう素・ふっ  
素・硝酸・亜硝酸性窒素・亜  
鉛等の排水濃度強化」他にE  
R（企業の社会的責任）とし  
て環境と経営を一体として考  
えていくことがこれからの事  
業ではないだろうか。そして  
これら規制を個々の企業と  
して捉えながら我々組合組  
織が一丸となって環境保全  
を順守していくことにより  
業界全体のレベルアップに  
つなげていきたいものです。  
そんな中、全国規模で組合  
員数の減少傾向が続いてお  
り、埼玉組合においても例外  
では無く平成12年～16年の  
5年間だけで117社↓100社（主  
に廃業による17社減少）とな  
り、このまま減少を傍観して  
いては組合運営が危なくなる  
のではと危惧し平成16年に  
県の支援の下、埼玉県全体で  
アウトサイダーが何社ある  
のかを調べることから始ま  
り、各市町ごとに地区割をし  
て調査したところ産業分類の  
2864、2869を合せて82  
社あることが判明し、その中  
の中小企業対象外を除いて加  
入案内を作成し平成17年から  
資料を送付、その後組合員支  
援の下、調査訪問を行い組合  
加入によるメリットを充分説  
明し、今日まで来ていますが  
この間5社新規に加入してい

ただくことが出来ました。尚、  
現在も数社折衝中ですので加  
入されると期待しているこ  
ろです。新規加入された企業  
は総じて積極的に組合事業に  
参画し組合活性化に貢献して  
いる傾向が見られます。  
これからも組合のP Rとし  
て特に環境保全、技術開発、  
情報の先取り等に組合全体で  
取り組んでいく姿勢をアピー  
ルし、アウトサイダー加入促  
進を続けていくことが重要な  
事業となっていくものと思  
います。多くの組合員の支援を  
お願いし寄稿とします。

## 第43回通常総会 開催される

埼玉県鍍金工業組合（吉田勇理 理事長）は、平成20年5月22日（木）午後1時30分より大宮サンパレスにて平成20年度第43回通常総会を開催した。

来賓をはじめ組合員・賛助会員多数出席のなか、島田幸昌総務委員長の司会で始まり、開会の辞の挨拶を野口武副理事長より頂き、次に吉田勇理理事長から挨拶を頂いた。続いて、議案審議に入り議長に島村周作顧問・書記に小松原秀元氏が指名され議事に入った。平成19年度事業経過ならびに、各委員会経過報告、次に20年度の議案をそれぞれの委員長が報告、各議案を審議、全会一致で承認された。

議案審議も滞りなく終了した後、役員退任の報告があり、長年理事を務めて頂いた柴崎義史氏（マエダ鍍金工業(有)）に感謝状と記念品が贈られた。

次に、来賓の埼玉県環境部水環境課課長代理副課長半田信明氏より挨拶を頂いた。

続いて、埼玉県鍍金工業組合青年部鍍金会会長出野哲也氏（現在

直前会長）よりPR報告があり、会の活動内容をまとめた（埼玉鍍金だよりを年1回発行）を今回お配りした事と、各事業所・組合を支える後継者の方へ、是非とも青年部に入って頂いて勉強と親睦を図って頂きたいとの事でした。

最後に、閉会の辞を仁科俊夫副理事長より挨拶を頂き総会の幕を閉じた。



この後、小休憩後会場を3階ソレイユの間に移し懇親会を開催し、席上にて吉田勇理理事長は、「この所自然災害などが多くミャンマーのサイクロンやアメリカの竜巻、そして中国の地震災害など、昨今の環境異変に不安を感じる状況である。そして経済は、サブプ

ライム問題などの影響によりアメリカの景気後退・ドル安・金融被害など、3重苦で先行きの厳しい状況の中で我々中小企業は材料高騰なども単価の中に組み入れられず厳しい経営を強いられている。本来であれば、世界規模での経済変化に対して政治の役割が求められるのですが、残念ながら日本の政治は政局にあぐらをかき機能していない状況であり、国民にとつて残念としか申し上げられない。我々業界では、相変らず廃業される事業所の増加に歯止めがかからず、産業構造の変化と一口では言えない寂しさを感じ、20年度も経済の後退場面が現実となると、より厳しい状況になるものと思われま

す。その中で、組織の安定・強化を図るためにも、アウトサイダーの方々の組合加入促進が重要だと思います。環境問題など共通の課題を抱える業界として理解を求め協力を頂くことで組織の強化に務めて行きたい。

厳しさばかり目立つ昨今ではあるが、本年の1月～3月までのGDP伸び率を見ると年率換算で3.3%になるとあり、稀なる明るい数字であり、今後を期待したいと思っております。」と述べた。

来賓祝辞は、埼玉県知事代理工業支援課課長小林茂氏・埼玉県県議会議員奥ノ木信夫氏・さいたま市環境局環境共生部部長宮川哲夫氏・埼玉県産業技術総合センター総長荒木純一氏・東京都鍍金工業組合理事長姫野正弘氏が祝辞を述べた。

この後、島村周作氏の音頭で乾杯、祝宴に入った。

昨年度は、めつき技術コンクール開催50回と記念すべき大会でありました。そのため、今回は特別に懇親会会場にコンクルの受賞作品と各企業のご協力のもと、めつき製品の展示をさせて頂きました。



# 全国鍍金工業組合連合会平成20年度通常総会を開催

平成20年5月29日(木)午後1時30分から、東京都港区芝公園の機械振興会館において、平成20年度通常総会を開催した。

来賓および、各都道府県より多数の関係者が出席の中、由田総務委員長の司会で開始された。最初に先輩物故者に黙祷を捧げた後、吉田副会長が開会の辞を述べ、続いて主催者代表挨拶を鈴木会長が次のように述べた。

『昨年の本総会にて会長に就任してから早いもので1年が過ぎました。本日は北海道から九州まで全国各地から多くの関係者の皆様方にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。さて、昨年度を振り返ると、ほう素・ふっ素・亜硝酸性窒素の暫定排水基準について、3年間の延長が認められたが、2年後には第4回目の延長問題が起きている。今まで延長が認められて来たが、次はこのまま認められるか非常に微妙な局面にきている。これからは環境委員会を中心に、この問題に対応・検討して行

きたい。また、今期、平成20年度は全鍍連設立60年と節目の年に当たり11月21日(金)に虎ノ門パストラルで記念式典を企画しておりますので、是非とも皆様にご出席頂きたい。

ところで、昨年より常設委員会との統合を検討して参りましたが、9月に開催される常任理事会までには結論を出したいと思っております。

現在、6つの常設委員会を5つに統合する方針で検討を進めており、また、財政問題も後々ご審議いただくが、今年度220万円余りの利益を計上する事ができ、これも会員組合並びに組合員皆様には賦課金の値上げをお願いし、また、役員給与等の減額など財政再建のため行った様々な方策にご協力いただいた皆様のお力添えの賜物であります。このような厳しい状況を皆様のご協力により無事乗り越えられた事を御礼申し上げます。今後は、全鍍連の収支をみながら改善して行きたいと思いま

す。』

続いて、議事審議に先立ち岸賞の表彰を行った。受賞は難波正義氏で功績を発表した後、鈴木会長より表彰状が授与された。

次に、議案審議に移り、満場一致で議長に鈴木会長が選任された。議案審議は次のとおりで、第1号議案「平成19年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支決算書等」、第2号議案「平成20年度事業計画案及び徴収方法について」、第3号議案「平成20年度経費賦課金および徴収方法について」、第4号議案「役員の退任及び選任について」すべてを滞りなく承認した。新理事は次の通りに承認された。

布袋屋氏退任に伴い後任専務理事を元経済産業省、現三井鉱山エンジニアリング株式会社専務取締役の近藤隆義氏・中島氏逝去に伴う補欠理事に長野組合推薦の同組合理事の下島氏・梅田氏退任に伴い後任理事を富山組合推薦の同

組合理事長の園氏・栗本氏退任に伴う後任監事を関東地区推薦の埼玉組合専務理事の小林氏。



## 『躍動する時代、もっと感じ挑戦しよう！』

〜 埼玉会20代目会長に島村学氏が就任〜



このたび、出野前会長の後任として、若輩者ながら埼玉会の会長に就任いたしました兼松精鍍工業(有)の島村学と申します。

親組合にはいつも多大なるご支援とご協力を賜り、この場をお借りして深くお礼を申し上げます。

本年度39年目を迎える埼玉会は全国的に見てもめっきの青年部としては歴史が古く、私で20代目の会長となります。長く培われたこの会の会長職をお預かりするということと一段と身の引き締まる思いでございます。

まだまだ若輩者ではございますが、一生懸命頑張って参りますので、親組合の皆様のご支援ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

〜 躍動する時代、もっと感じ挑戦しよう！〜

我が国の経済は緩やかな成長を続けていると言われていますが、ここに来て足踏み状態が続いているようです。我々中小企業は先行き不透明感が根強く、親会社からのコストダウンや止まらない材料の値上げ、下請けの合理化、人材確保、環境問題等を見てもまだまだ厳しい状況です。

「少し景気が良くなった」と感じるものがあっても一過性で持続性に乏しく、我々が望むような「景気の良さ」というのは程遠いという印象です。

しかし厳しい状況というのは見方を変えれば時代の変革とも捉えられ、この変化にこそ新しい価値観や企業をさらに強くする要素があると考えると、今まさに躍動する時代なのではないかと思えます。その変革の中でさらなる資質の向上を得るには「もっと感じ、挑戦する」ことが必要であると思えます。

当たり前であったことからもう一度見直してみる、その中に重要な要素が隠されているかもしれない。もっと感じ、挑戦すること。で真のステップアップが出来ると思っております。

さて、現在、埼玉会では新規会員を募集しております。

私事で恐縮ですが私は埼玉会に入り早10年が経ちました。その中で多くの先輩達から沢山の事を学び教えられ大変感謝しております。誤解を恐れずに言わせて頂くと、「埼玉会に入っていない後継者の方は勿体無い」と思っております。時代は急速に変わり臨機応変に真面目に取り組まないと目に見えて置いていかれるこのご時勢、経営者として少しでも多くの事を学ぶというには必須であります。

そんな中、埼玉会では公私に役立つ勉強会をこれからも沢山開催出来るよう役員一同、頑張って参りたいと思っております。

勿論、月に一度集まった時は楽しいお酒の席もあります。同じ業界ならではの悩みや情報交換な

ども気軽に話せる場として利用していただければ、資質の向上や自己企業に寄与できるものと信じており、この機会に、是非とも埼玉会に入会を検討してみたいかがでしょうか。

最後になりますが、埼玉会の会員会友の皆様が本会の事業を通じて少しでも情報交換や資質の向上に役立ち、自己企業に寄与できるように活動を出来ればと思っております。今後とも皆様の変わりぬぐご支援とご協力をお願い致します。



## 第2支部だより

今も時を刻み続ける日本の音風景

### 「時の鐘」

川越市街で蔵造りの町並みのほぼ中央に位置する「時の鐘」。

ひとときわ高くそびえる鐘楼はここにちの川越の人々のシンボリック存在です。

「時の鐘」は、寛永年間、川越城主だった酒井忠勝（1627～1634）によつて創建されたと伝えられています。

その後大火で焼失し、何度か建て替えられ、現在のものは、明治26年の川越大火の後に再建されたもの。

三層構造の櫓は、約16メートルで奈良の大仏とほぼ同じ高さです。

時代と共に手つきが自動鐘撞き機に。また、つく時間や回数も変わりましたが、街行く人をほっとさせる響きは昔のまま、時間を刻み込んで時を打っています。

現在は、午前6時、正午、午後3時、午後6時に6回ずつ撞かれています。

その音色は平成8年に環境庁の「残したい日本の音百選」に選ばれました。

第2支部は、歴史や文化の川越をはじめ所沢・坂戸など7市に12社が点在していて、各社の営業品目も亜鉛・ニッケル・クロムはもちろんアルマイトや建築金物製造など多岐にわたっています。

支部会議などで集まった時は、和気あいあいと楽しいひと時で、笑いが絶えません。それでも、第2支部に新しい仲間があと数社増えるようにと頑張りたいと考えています。

今後とも第2支部を宜しくお願ひします。

### 追伸

来年春よりNHK連続ドラマ小説、第80作目の「つばさ」が放映されますが、この江戸風情が今なお残る小江戸川越を中心に長瀬・さいたま市などを舞台に物語が展開していきますので乞うご期待です。

第2支部 総務委員 長澤一男

## 「ふっ素計量」

### 追加されました

8月より排水分析項目に「ふっ素」が加わりましたのでお知らせ致します。

今後当組合分析施設の充実を図って参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

尚、分析依頼に関するお問い合わせは事務局までお願い致します。



分析項目および価格表

項目	基準値	計量方法	料金
PH (℃)	5.8～8.6	ガラス電極法	他分析時無料
全シアン	1.0	4-ピリジナルボン酸ピラゾロン吸光光度法	1,500円 / 1回
六価クロム	0.5	ジフェニカルバジド吸光光度法	1,500円 / 1回
全クロム	2.0	フレーム原子吸光法	1,500円 / 1回
亜鉛	5.0	フレーム原子吸光法	1,500円 / 1回
銅	3.0	フレーム原子吸光法	1,500円 / 1回
ニッケル	—	フレーム原子吸光法	1,500円 / 1回
鉄	—	フレーム原子吸光法	1,500円 / 1回
鉛	0.1	電気加熱原子吸光法	1,500円 / 1回
浮遊物質質量 (SS)	—	重量法	2,500円 / 1回
ふっ素	—	ランタン-アリザリンコンプレキソン吸光光度法	2,500円 / 1回

# 来年5月21日より裁判員制度が始まります

来年のお話ですが、裁判員制度が実施されます。各企業におかれましては従業員の方が裁判員に選ばれた場合、どの様に対応すれば良いかを早めに考える必要があると思います。

左記に裁判員制度の内容を記載いたしますので一読頂きたいと思えます。

平成16年5月21日「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」が、成立し、平成21年5月21日から裁判員制度が実施されます。

裁判員制度とは、国民のみならずに裁判員として刑事裁判に参加してもらい、被告人が有罪かどうか、有罪の場合どのような刑にするかを裁判官と一緒に決めてもらう制度です。

国民のみなさんが刑事裁判に参加することにより、裁判が身近で分かりやすいものとなり、司法に対する国民のみなさんの信頼の向上につながる事が期待されています。国民が裁判に参加する制度は、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア等でも行われていました。

裁判員制度の対象となる事件は、代表的なものをあげると、次のようなものがあります。

※人を殺した場合(殺人)

※強盗が、人にけがをさせ、あるいは、死亡させてしまった場合(強盗致死傷)

※人にけがをさせ、死亡させてしまった場合(傷害致死)

※泥酔した状態で、自動車を運転して人をひき、死亡させてしまった場合(危険運転致死)

※人の住む家に放火した場合(現住建造物等放火)

※身の代金を取る目的で、人を誘拐した場合(身の代金目的誘拐)

※子供に食事を与えず、放置したため死亡してしまった場合(保護責任者遺棄致死)

裁判員に選ばれたら、次のような仕事をするようになります。

## 1 公判に立ち会う

裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に、刑事事件の法廷(公判といいますが)に立ち会い、判決まで関与することになります。

公判は、連続して開かれます。公判では、証拠書類を取り調べるほか、証人や被告人に対する質問が行われます。裁判員から、証人等に質問することもできます。

## 2 評議、評決

証拠を全て調べたら、今度は、事実を認定し、被告人が有罪か無罪か、有罪だとしたらどんな刑にするべきかを、裁判官と一緒に議論し(評議)、決定する(評決)こととなります。

評議を尽くしても、意見の全員一致が得られなかったとき、評決は、多数決により行われます(ただし、裁判官、裁判員のそれぞれ1

名以上の賛成が必要。

有罪か無罪か、有罪の場合の刑に関する裁判員の意見は、裁判官と同じ重みを持ちます。

## 3 判決宣告・裁判員の任務終了

評決内容が決まると、法廷で裁判長が判決を宣告することになります。

裁判員としての役割は、判決の宣告により終了します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、最高裁判所ホームページ「裁判員制度」でご確認下さい。

<http://www.sabain.courts.go.jp/>

また、組合本部に裁判員制度を紹介したDVDがありますので事務局までお問い合わせ下さい。

\*DVDの数が少ない為、順番制にてお貸し致します。

# 平成20年度 行事予定

◇平成20年10月7日(火)  
**公害防止管理者研修会**  
 午後1時30分 於大宮サンパレス

◇平成20年10月19日(日)・20日(月)  
**視察研修旅行(仙台方面)**  
 視察先

スズキハイテック(株) 本社工場  
 山形県山形市銅町2-2-3  
 TEL 023-631-4702  
 事業内容(フープ・硬質クロム・金・銀・装飾・亜鉛等)

◇平成20年1月20日(火)  
**賀詞交歓会**  
 午後2時 於パレスホテル大宮

◇平成20年2月6日(金)  
**埼玉県めつき技術競技会 排水管理優良事業所**  
 午後1時30分 於大宮サンパレス

◇平成20年5月21日(木)  
**第44回通常総会**  
 午後1時30分 於大宮サンパレス

## 訃報

杉山 義夫さん  
 高松電鍍工業(株)  
 代表取締役社長  
 元理事  
 平成20年5月19日 逝去  
 享年84歳

高橋 きんさん  
 (有)高橋研磨工業  
 代表取締役社長 ご母堂  
 平成20年6月7日 逝去  
 享年92歳

須永 辰雄さん  
 (有)朝日メッキ工業所  
 代表取締役  
 現環境保全対策委員 元支部長  
 元技術教育委員会副委員長  
 平成20年7月20日 逝去  
 享年68歳

黒澤 清さん  
 (株)スリーケ(旧株)黒澤化工)  
 会長 ご尊父  
 元総務委員 元センター運営委員  
 平成20年8月1日 逝去  
 享年86歳

小林 秀雄さん  
 (株)小林鍍金工業  
 取締役  
 元専務理事 元支部長  
 元センター委員長  
 平成20年8月6日 逝去  
 享年85歳

慎んで皆様のご冥福をお祈り申し上げます。



表紙の写真は道の駅のファンの人気投票では県内一を誇る。

『アグリパークゆめすぎと』

杉戸町が「地域振興と農業活性化」の拠点として01年にオープンした施設で敷地は10万2000平方メートル。杉戸町のほぼ中央、町道11号(埼玉葛城農道)沿いの田んぼの中にある。姉妹都市オーストラリア、パッセルトンの欧風農村的イメージを取り入れて建設された。

本館棟、公園ゾーン、農業ゾーンがあり農産物直売所には杉戸産の新鮮な野菜や果物、地酒、お菓子も並ぶ。

埼玉県北葛飾郡杉戸町大字才羽823の2  
 TEL 0480(38) 4189  
 交通

東武動物公園駅東口  
 関宿中央ターミナル行きバス  
 田宮農協前下車徒歩15分  
 午前9時半より午後5時  
 (第1、第3水曜日休館日)



印刷  
 保証企画工芸株式会社  
 〒110-0012  
 東京都台東区竜泉1-4-3  
 TEL 03(3875)1641